

平成21年4月30日

各位

本店所在地 東京都渋谷区渋谷二丁目1番1号
 会社名 株式会社アイレップ
 代表者 代表取締役社長 紺野 俊介
 (コード番号：2132)
 問合せ先 取締役管理本部長 室井 智有
 電話番号 03-5464-3398 (代)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月14日の決算発表時に公表した平成21年9月期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成21年9月期通期・第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正

(1) 通期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	11,188	513	529	295	円 銭 11,001.04
今回修正予想(B)	10,086	177	192	92	3,443.55
増減額(B-A)	△1,102	△336	△337	△203	△7,557.49
増減率(%)	△9.8%	△65.5%	△63.7%	△68.8%	△68.7%
(ご参考) 前期実績(平成20年9月期)	10,216	482	486	273	10,105.76

(2) 第2四半期累計期間（平成20年10月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	5,225	208	211	116	円 銭 4,321.33
今回修正予想(B)	4,579	74	77	31	1,186.01
増減額(B-A)	△646	△134	△134	△85	△3,135.32
増減率(%)	△12.4%	△64.4%	△63.5%	△73.3%	△72.6%
(ご参考) 前年中間実績 (平成20年9月中間期)	5,414	346	334	174	6,444.73

(注) 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2 平成 21 年 9 月期通期・第 2 四半期累計期間の個別業績予想数値の修正

(1) 通期 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,045	488	496	272	円 銭 10,163.49
今 回 修 正 予 想 (B)	10,017	207	216	116	4,344.27
増 減 額 (B-A)	△1,028	△281	△280	△156	△5,819.22
増 減 率 (%)	△9.3%	△57.6%	△56.5%	△57.4%	△57.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 9 月期)	10,114	466	471	262	9,715.76

(2) 第 2 四半期累計期間 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期 純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,161	201	205	112	円 銭 4,205.33
今 回 修 正 予 想 (B)	4,558	93	99	54	2,021.97
増 減 額 (B-A)	△603	△108	△106	△58	△2,183.36
増 減 率 (%)	△11.7%	△53.7%	△51.7%	△51.8%	△51.9%
(ご参考) 前年中間実績 (平成 20 年 9 月中間期)	5,385	348	351	190	7,071.25

(注) 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3 修正の理由

当第 2 四半期においては、第 1 四半期と比較して下げ止まり感があったものの、売上高、利益ともに見込んだほどの回復はできませんでした。当社クライアントの状況につきましては、業種的に、通販を主とした小売業は概ね堅調に推移いたしました。人材業、金融業においては広告予算の見直しが相対的に多く見受けられました。このような事業環境にあったため、とりわけリスティング広告販売における売上高が減少いたしました。

収益面では、一貫した SEM サービスの提供により相応の付加価値を維持したため、売上高総利益率は概ね前年同期と同じ水準で推移しております。一方、SEO、Web コンサルティングの利益額については、ほぼ予想の範囲内であったものの、リスティング広告販売の伸び悩みによる利益額の低下をカバーするまでには至りませんでした。そのため、オフィスの増床などによる販管費の増加を予定どおりに吸収することができませんでした。

一方、子会社である株式会社あいけあについては、主軸となっている介護・医療分野の人材紹介サービスが、季節的要因に加え競合企業が増加したことが原因で振るわず、本社移転費用も負担となりました。

下期につきましては、リスティング広告市場の一定規模の拡大は見込んでおりますが、全体的に厳しい経済環境が続く、当面は第 2 四半期までの実績の延長線から大幅に変化することがないと認識しております。

以上により、平成 20 年 11 月 14 日に公表いたしました平成 21 年 9 月期第 2 四半期累計及び通期業績予想を下回る見込みとなったため、連結、個別とともに業績予想の修正を行います。

以上